



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 8 月第 1 例会 (2013.8.6) No.3004

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

今週の例会の会長挨拶として「ロータリークラブとライオンズクラブの違い」についてお話します。

最初に、インターネット上でロータリークラブとライオンズクラブの違いについて議論されていますので紹介します。

(<http://okwave.jp/qa/q1549016.html>)

一言で言えばよく似たものです。ライオンズの創始者はそれまで在籍していたロータリーに飽き足りずに創立したということです。よく言われてきた大きな違いとは、ロータリーは社会に対する奉仕をする場合、各人が置かれた立場で個人的に行うことが推奨され、一方でライオンズは団体として奉仕を行う言うものでした。とは言え、最近ではロータリーも団体として奉仕を行う傾向がありますし、過去大変厳しかった規範も若干緩んできましたから最初に述べたように世界的な規模の団体であることや入会するには一応の審査基準があることなど、むしろ共通した特徴の方が多いと思います。どちらに入るか、入ったかは信念や好みからと言うよりは人のつながりによると思います。…今まで漠然としか分かりませんでした。ロータリーの方が、格が上と思っていました、そうでもないんですね。

以前私は、ロータリーは“ I serve. (個人奉仕) ”、ライオンズは“ We serve. (団体奉仕) ”と習いました。しかし現在では差がなくなりました。

もう一つインターネット上の意見を紹介します。

(<http://kokusai.jugem.jp/?eid=427>)

ライオンズはお金をかけるが、ロータリークラブはお金をかけない、と言う定義は本当だろうか？…ロータリーは1905年、ライオンズは1917年の創立です。どちらの公式サイトにも他方への言及はありません。そこで私が聞いたことがある話。ライオンズの創立者メルビン ジョーンズは元々ロータリーの会員だった。そのロータリークラブ内では会の運営にあたって意見が分かれた。メルビン ジョーンズは奉仕活動に費用が発生するのは当然。ある程度の支出は仕方がないとの意見。これに対してロータリーは職業を通じ

ての奉仕を理念としている。お金はかけるべきではないとの意見も出た。そこでメルビン ジョーンズはロータリークラブを離れ、ライオンズクラブを設立し、寄付・寄贈を中心とした奉仕活動を展開した。…ライオンズはお金をかけた活動をしている、と言うイメージはあります。主だった場所には〇〇ライオンズクラブ寄贈と銘打ったモニュメントや看板・横断幕が目を引きます。これに対してロータリーは街中でもなかなか〇〇ロータリークラブと言うモノには巡りあえません。ライオンズクラブは寄付・寄贈を重んじる、と言うのもイメージが先行しているかもしれません。会員増強の際に必ず出る話題では「私の町ではライオンズクラブが3つあるのにロータリークラブは1つしかない。町の事業経営者の大半はライオンズクラブに取られて、ロータリークラブは3人くらいで細々と運営している」と言う嘆きがあります。都市部では会員増強のライバルとしてライオンズクラブは、さほど意識されません。一説では、ロータリークラブは大都市圏を中心にクラブ拡大を続けてきたのに対しライオンズクラブは地方都市や過疎地での活動に先鞭を付けてきた。

ところで私の個人的体験ですが、アメリカのあるロータリークラブに出席して、ライオンズクラブを“アニマルクラブ”と呼んでいるのを聞きました。その後、私はなぜライオンズクラブと言うか調べてみました。ライオンズクラブの名誉のために注釈しておきます。[L]iberty, [I]ntelligence, [O]ur, [N]ations, [S]afety です。すなわち自由を守り、知性を重んじ、国の安全を図るです。しかし、創立者のメルビン ジョーンズは、クラブ名が「百獣の王のライオン(LIONS)」になるよう先に決め、次にその頭文字の意味を考えたようです。

最後のまとめをします。ロータリークラブの歴史をひもとくと、ライオンズクラブはロータリークラブから分派したと書かれていますが、ライオンズクラブはその経緯に触れていません。その後、違った道を歩んでいますが、今や活動には差がありません。共に奉仕活動で頑張りたいものです。

(3) 米山奨学生劉 天萍さん挨拶・奨学金贈呈

(4) ビジターの紹介

・松本英明君(浪江 RC)

(5) 100%出席バッチの贈呈

山田 眞君 1年 登坂 直美君 1年
渡辺 洋一君 2年 小田 等君 3年
内山 清君 23年 小林 悟君 35年
福地 利明君 38年

(6) 誕生日お祝い贈呈(5名)

(7) 結婚記念日お祝いの紹介(1名)

(8) 委員会報告

・相澤青少年交換委員長より地区一年交換学生募集について(概要は次ページに掲載、申し込み問い合わせは新潟RC事務局へお願いします。)

(9) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸潔副委員長)

樋熊 紀雄君 山本 正治君

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一副委員長)

竹石 松次君 樋熊 紀雄君

(10) ニコニコボックス紹介(金親 顯男副委員長)

・坂本 務君 8月4日に、メディアシップ日報ホールで行った「長岡花火」のスーパーハイビジョンのパブリックビューイングは、皆さんご協力のお陰で、14回の上映すべて満員となり盛況のうちに終える事が出来ました。来場者の方々からは、満足の声をいただきました。有難うございました。

・金親 顯男君 今週末は、いよいよ新潟まつり。各地の花火同様、新潟の花火も盛大に上がる事を祈って。

(11) 幹事報告

①本日の理事会の報告

・9月8日開催の交通遺児の為の事業は、本日の理事会でメーカーアップ扱いとなる事が承認されました。

・9月7日開催の2560地区第2分区のIMについて、参加費8,000円のうち、4,000円をクラブが負担することが承認されました。当日は、「わがクラブの奉仕活動」というテーマで、9クラブから、各クラブの取組を発表してもらうことになっております。新潟クラブとしても、今後、発表に向けて準備を進めて参りますので、ご協力を。

・2016~17年度のガバナーノミニー候補については、新潟クラブからは推薦しないことにいたしました。

②ロータリーカードのご案内

③第12回ロータリー日韓親善会議のご案内

(12) 会員スピーチ

新潟調理師専門学校 副校長 吉田和弘さん

「専門学校から見た最近の若者と

おススメ卒業生のお店紹介」

8月6日 理事会報告 出席者12名

1 社会奉仕委員会主催 交通遺児の為の事業について

メーカーアップ扱いとすることが承認された。

2 9月7日 IMについて(新潟万代RCホスト於 ホテルオークラ新潟)

登録料のうちの一部(4,000円)をクラブで負担することが承認された。

3 地区大会について(2日目はバスを手配済)

11月16日のRI 会長代理歓迎晩餐会の登録料のうちの一部(9,000円)、11月17日の本会議の登録料のうちの一部(8,000円)をクラブで負担することが承認された。8月7日付で会員に対して案内を発送する。

4 2016-17年度ガバナー候補推薦の件当クラブからは推薦しないことにする。

5 2014-15ガバナー補佐推薦依頼の件継続審議

6 入会被推薦者審査=承認

第四銀行取締役兼執行役員本店営業部長 桐山 晃君

日本海エル・エヌ・ジー(株)取締役社長 八島 進君

7 8月のプログラム=承認

8月6日 会員スピーチ「専門学校から見た最近の若者とおすすめ卒業生のお店紹介」

新潟調理師専門学校 副校長 吉田 和弘君

8月13日 規定休会

8月20日 会員スピーチ「新潟の電話とTOSYS」

(株)TOSYS 取締役 登坂 直美君

8月27日 会員スピーチ「農と食でつくる新潟の元気」

JAバンク新潟県信連代表理事専務 桑原隆君

(13) 本日の出席率 72.62 %

(2週間前メーカー後 81.71 %)

8月20日の例会予定

会員スピーチ 「新潟の電話とTOSYS」

(株)TOSYS取締役 登坂直美君

国際ロータリー NPO法人日本青少年交換委員会

第2560地区 2014～2015年度 一年交換学生募集要項

A 交換先 (予定)

アメリカ、ドイツ、ブラジル、タイ 他 (派遣先は当委員会にて決定する)

B 資格

- 1) 出発時に高校在学中(応募時点で中学生でも可)の19才以下で、学業成績が中位以上の者
- 2) 学校長の許可が得られ、心身共に健康で、一年の外国生活に適応できる者
- 3) 高校所在地又は居住地にあるロータリークラブ(ホストクラブ)の推薦を得ること
- 4) 派遣前後のオリエンテーション及び報告会に出席できること
- 5) 派遣学生の家庭は受入れ家庭となることが望ましい(受入において原則男女の希望は認めない。受入出来ない場合はホストクラブの承諾が必要、ホストクラブはホストファミリーを確保する。)

C 受付期間と申し込み方法等

- 1) 留学の希望について両親、通学高校の校長の了解を得た上で、下記の青少年交換委員会事務局に申込書を請求し、ホストクラブ経由で記入済みの申込書を10月末日必着で返送する。
- 2) 2013年11月中旬選考試験(予定)
「国際ロータリー第2560地区 青少年交換委員会事務局」より選考試験の案内が応募者へ郵送され、その選考試験に合格した者が、交換学生としての推薦を受ける。
面接、作文、筆記試験(英語・一般常識)の予定
但し作文は、応募者の申込書を受理した時点で、テーマを発表するのでそれに従い事前に提出する。
- 3) 提出書類等 所定の申込書、成績証明書1通

D 交換学生派遣時期(予定)

2014年8月下旬出発、受入

E 派遣学生が負担する費用について

渡航に関する費用(目的地までの往復運賃、傷害保険加入料、渡航手続き費用等)
ロータリーが主催するオリエンテーションの参加、交通費
ロータリーで作成する名刺、バッジ等
留学先での個人的な費用(食費、学費は受入れるロータリークラブが負担)

F 募集人数 約4名

G 注意 留学先での単位の取得については、ロータリーは保証しない。派遣先の高校で成績証明書が発行されれば、現在通学している学校長が判断する。